

読書の秋です。親子で本を読み感想を語り合いましょう。



33冊



33冊



34冊



【推薦図書100冊読破賞トロフィー】

【常葉町推薦図書掲示カード低・中・高学年（裏もあります）】

読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものです。（文部科学省「子どもの読書活動推進ホームページ」より引用）

テレビ、メディア、インターネット等のさまざまな情報メディアの発達・普及や子どもの生活環境の変化、さらには、幼児期からの読書習慣の未形成などにより、平成10年頃から子どもの「読書離れ」が指摘されてきました。全国図書館協議会の調査によれば、1ヶ月の読書冊数は小学生、中学生、高校生と年齢が増すにつれて読書冊数が減少する傾向にあります。また1ヶ月に1冊も本を読まなかった割合は、小学生4.5%、中学生16.4%、高校生53.2%となっています。（H24年6月、文部科学省 全国調査）

このような現状を受けて、国や県では法令や読書活動推進計画の策定及び具体的な施策が推進されてきたところです。

常葉地区においては常葉中学校区の1幼稚園2小学校1中学校が連携して図書館教育に取り組んでいます。小学校においては「常葉地区小学校すいせん図書100冊」を卒業までに読む運動を啓発しています。子ども達は、推薦図書を読んだら、配付してある読了の記録台紙にその本のシールを貼ります。低学年で33冊、中学年で33冊、高学年で34冊、合計100冊を読んだ人数は、現在のところ5・6年生13人です。100冊はどれも心の栄養となる良書ですから、保護者の皆様も小学生の頃を思い浮かべながら、秋の夜長、子どもさんとともに読書してみてもはいかがでしょうか。



常葉町推薦図書100冊 読破賞

6年	坪井	酒井
	木幡	中島

各種大会、コンクール 入賞おめでとう

■児童作文コンクール

○特選	3年	松崎	「わたしのじまんの姉兄」
○入選	1年	松本	「おじいちゃんのたんじょうび」
	2年	浦山	「あいさつの大じさ」
	4年	吉田	「ぼくの四年生ふんとう記」
	5年	高橋	「私たちがつくる未来」
	6年	松本	「ぼくとサッカー」

■ふくしまっ子ごはんコンテスト

○優秀賞	6年	白岩	「元気100倍朝ご飯！」
------	----	----	--------------

※ 県で最優秀賞に次ぐ、上位2席の賞です。

■田村富士ロードレース大会（小学生2km）

○第3位	5年	佐藤	高橋
○第4位	5年	渡邊	
○第5位	5年	坪井	



授業研究会第7回2年「算数」

10月19日（木）2年生は算数「かけ算（1）」を校内の先生方と関本小学校 吉田校長先生に参観していただきました。教科書の挿絵、遊園地で子ども達が遊んでいる場面を見て、おはじきを並べて数えたり、グループで話し合ったりして、かけ算の式を立てていました。「ハイ！」の返事が良くできて、子ども達は45分間、集中力が途切れることなく課題に取り組んでいました。事後研究会ではかけ算の意味理解と言葉の式、半具体物の操作との関連づけ、人権教育について協議されました。



第2回学校評議員会・フリー授業参観（10月24日）



第2回学校評議員会は10月24日（火）午前10時より校長室で開催されました。

始めに、校長より前期の学校運営と反省について、子ども達が学習・運動・文化面で大いに活躍し、自分から大きな声であいさつできる児童がふえてきていることなどを説明しました。また、後期の運営について、学力・体力の向上、豊かな人間性の育成についての取組みの重点を説明し、評議員の皆様から質問やご意見をいただきました。情報交換では、常葉町3小学校の統合に関わる、これまでの経過と今後の見通し、評議員としての協力について熱心に協議されました。お忙しい中ご出席を賜り、ありがとうございました。

当日は、1～4校時目までフリー授業参観1日目でした。評議員の皆様も合わせて10名と参観者はやや少なめでしたが、「ふつうの授業参観より参観者が少ないので、ゆっくり見られる」「子ども達の普段の様子が見られて良かった」「子どもたちがのびのびと明るくて、仲が良い」と好評の声が多かったです。